令和３年１月発行　能代市ボランティアセンター　能代市上町 12-32　TEL89-6000　FAX89-6800
二ツ井総合福祉センター　能代市二ツ井町字三千苅 44-34　TEL73-3801　FAX73-5648

第 141 号 ボランティア通信

《秋田県雪害事故防止週間》 除排雪　一人でしない　やらせない

今冬は、12 月末から雪が降り、積雪量も多くなっています。
また、市内では１月７日から８日にかけて、急速に発達した低気圧の影響により暴風雪を伴う大荒れの天気となりました。
県南地域では、記録的な大雪に見舞われ、除雪中や雪下ろし中の事故が相次いでいます。
例年、１月以降は降雪量が多く、雪下ろしなど除排雪作業中の事故が多発します。特に高齢者による事故が多い傾向にありますので、『作業は危険ととなり合わせ』という意識を持って、安全対策を徹底し、除排雪作業中の事故防止に努めましょう。

秋田県内では、過去１０年間の除排雪中の事故で **１，４１４人** が死傷しています。
除排雪作業は１人で行わず、誘い合って２人以上で行いましょう。
やむを得ず１人で作業を行う場合は、家族や近所の方に声をかけてから行いましょう。

<< 安全対策のポイント >>

❶ 無理はしない。作業中はこまめに休憩を！
❷ ふたり以上で作業を！
・やむを得ず１人で作業を行う場合は、家族や近所の方に声をかけてから行いましょう。
❸ 適切な服装で！・防寒着：着ぶくれを避け、薄手で防水性のあるもの
・手袋、靴：すべりにくく、防水性・防寒性のあるもの

❹ ヘルメット・命綱・安全帯の装着を！・安全帯はフルハーネス型をおすすめします。
❺ 「はしご」はしっかり固定！
❻ 屋根の雪のゆるみ（落雪）に注意！
❼ 除雪機利用中の事故に注意を！・回転部の作業はエンジンを止めてから
・作業中の転倒注意と周囲の安全確認を

コロナ禍における初めての冬を迎えています。
除排雪活動においても、新型コロナウイルス感染症予防対策に配慮し、対応をお願いします。
【ｗｉｔｈコロナ期における雪かき活動ガイドライン】（日本雪工学会除雪安全行動研究委員会作成）
１．雪かき活動においても、あらゆる場面で、まず感染予防対策を徹底する。
２．関わるすべての人が安心感と納得感を得られるように。
３．ｗｉｔｈコロナ期であっても受援者と除雪ボランティアの交流を途切れさせない。

《参考：http://www.snoweng.org/?page_id=2383》

雪かき作業中においても“**マスク着用**”が基本です。冬場の屋外作業は身体に負荷のかかる作業ですが、空気の乾燥やウイルスの浮遊なども考えられます。休憩時は、周囲の人と距離を十分にとり、水分補給などこまめにとりましょう。

能代市ボランティア連絡協議会　活動報告

新型コロナウイルス感染症の感染症対策をしながら、研修会や活動を実施しました。

『図書館ボランティア　ホワイトブックス（代表　湊　優子　氏）』へ
ボランティア功労者に対する『厚生労働大臣感謝状』が授与されました。
おめでとうございます。

図書館ボランティア　ホワイトブックス　は、平成４年に結成してから、図書館でのお話会や出前お話会の開催、読み聞かせについて知識を学ぶなど自己研鑽に励み、現在も継続して活動をしております。

◆◇◆◇◆◇ボランティア登録者を募集しています◇◆◇◆◇◆

◎希望の活動内容、興味のあること、特技や資格など、明記していただくとご希望に応じた活動を紹介することができます。
◎活動保険は、ボランティアセンターで負担します。
◎ボランティアに関する様々な情報がキャッチできます。

【連絡先】
能代市ボランティアセンター
TEL：８９－６０００　　FAX：８９－６８００

【お願い】
この通信をご覧になってのご意見・ご感想をお寄せください。